津山商工会議所
女性会だより

発行所
津山商工会議所
女性会
津山市山下30の3
電話(0868)22-3141㈹
発行人 田中勝子
題字 縄島和子

大地に根を張り 咲かそう大輪の花を…

ご挨拶



女性会会長
田中勝子

新年明けましておめでとうございます。

皆様に御協力を頂き昨年も無事一年を過ごさせて頂くことが出来有難うございました。

御承知のとおり政権交代をしたものの、依然としてお金の問題等、次々と政界がゆれ動き、高い失業率、派遣法の規制強化、又、雇用の崩壊による就職難と、不景気風は治まりをみせず大変な時ですが、企業人としての私共は何とか生き残らなければなりません。

女性会の活動指針に「凛と信をもって…」とあります。「信」を「芯」に変えて、自然の約束にそむかず行動すれば、やがて樹が大くなり、枝が延び、必ず新しい芽が出ます。芽が出るその姿に学び、私達女性会も女性のパワーで凛として、くるくる廻るコマの様に、芯がぶれず、中心的存在で頑張って行きましょう。

そして皆様にとりまして最良で素晴らしい年に成ります様祈念申し上げます。

平成二十二年 女性会新年懇親会

一月八日午後六時より、津山国際ホテルに於いて、浮田会頭をはじめ来賓の方八名、会員四十名の出席のもと、新年懇親会を盛大に開催いたしました。

浮田会頭の挨拶では、今年は国民文化祭が岡山県で開催されるため、津山国際音楽祭を来年に行いますとの報告もあり、田中会長から新年の挨拶がありました。青年部の金本会長の乾杯の後、三委員会の趣向を凝らした余興で、粋なハッピ姿の傘踊り、プロ級のど自慢、賑やかな踊りと来賓の方のカラオケなどで盛り上がりました。

抽選会では、豪華な鉢植えの花が次々と当たり、手にする人の顔も花いっぱいに咲いていました。

和やかな雰囲気の中、今年もまた楽しく女性会活動に励もうと心新たにしながら、最後は津山盾踊り、津山民謡の総踊りで会を閉じました。



▶総務委員会



▲熱唱中の浮田会頭



◀親睦委員会



▶広報委員会

第41回 全国商工会議所女性会連合会
2009 長野全国大会

9月4日(金)～6日(日)

九月四日長野市エムウェーブで開催され、全国約三二二五名が一堂に会し、岡山県一三名、津山女性会から十二名が参加しました。

吉川稲美会長よりご挨拶があり、「女性の明るさが社会を元気にする、という意気込みをもって皆が共に手をたずさえる共生・調和の社会の実現を目指し、女性会として行動していきましょう。」と話されました。

続いての記念講演では、医師・作家 鎌田實氏による「幸せの探し方教えます」と題してのお話を拝聴しました。私利私欲ばかりではなく、元気な日本をつくろうと、ご自分の子供時代の話の中から思いやり、温かい愛が私達ひとりひとりに必要な時代であると、ユーモアと涙で語られました。



日本商工会議所会頭を始め多数のご来賓をお迎えしての華々しい長野大会でした。

五日は善光寺に参拝し、小布施の街並、志賀高原の美しい景色に感動し、夜は草津温泉に宿泊。翌日の六日は軽井沢での歓策を楽しんだのち、帰路に就きました。

この大会で会員相互の親睦の和が温かい心となって、津山女性会に情熱を吹き込む力と成ることと思います。



クリーン作戦(ホさな親切運動)
八月二十三日(日)

恒例の「クリーン作戦」に女性会より二十一名参加しました。

津山市長、浮田会頭、管田副会頭を始め多数の参加の中、町並みの清掃に汗を流しました。

少しでも地域に貢献できればとのみなさんの思いが、町も心もさわやかになりました。お疲れさまでした。

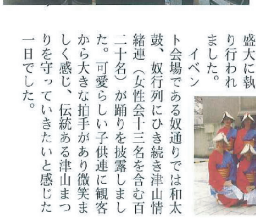


中山副市長との懇談会
——十月六日(火)

津山市役所にて、中山副市長との懇談会を正副会長四名の出席で開催しました。その中で津山市長宛ての提案書を、中山満副市長に、田中会長より手渡しました。

内容としては二十二年三月末、県の施設としては閉鎖される「グラスハウス」について、津山市の施設として存続出来るのであれば、今回初めて提案書を提出しましたが、今後も定期的にこの会を重ねることをお願いし、女性会も市への関心をより深め、より良いまちづくりの為に女性会一同力を合わせて、全力で進んで行きたいと思います。





「津山まつり」に女性会参加
——十月二十五日(日)

津山まつりのフィナーレを飾る徳守神社のまつりが市街地中心部で盛大に執り行われました。

イベント会場である奴通りでは和太鼓、奴行列にひき続き津山情緒通り(女性会十三名を含む百二十名)が踊りを披露しました。可愛らしい子供連に観客から大きな拍手があり微笑ましく感じ、伝統ある津山まつりを守っていきたいと感じた一日でした。



「公開講演会」in倉敷
——十一月十一日(水)

雨にぬれた山あいの紅葉を見ながら一路倉敷へ。

倉敷アイビースクエア「フローラルコート」に於いて、県内の女性会に向けて今年度第二回目の県女連講演会があり、津山からは十五名が参加致しました。

講師は、RSKパーソナリティー、そして倉敷芸術科学大学客員教授でもある演家舞雄氏による「信はたて糸・愛はよこ糸」と題しての講演会でした。

今、一番薄れているのは人と人とのつながり。お互いがお互いを支え合い、たての糸とよこの糸を重ねてきた人生。今、日常の延長線上に起きている事件は、個人を大事に思うあまりに、結果として孤立・孤独化が招いてしまったもの。人をひとりぼっちにさせない。自分もひとりぼっちにならない。その為にも、A＝明るく、T＝楽しく、M＝前向きに、このA・T・Mの三文字を心に刻んで生きていってほしい」と熱く語られました。

私達もこれからの毎日、忘れかけていた心のふれあいを大切に、まわりから元気をもらい、又まわりに元気を与えられる人になれるよう、地域のお国言葉を大切に、日々楽しく過ごして行きたいとバスの中も大いに盛り上り、津山への帰路につきました。





岡山商工会議所女性会創立四十周年記念式典に参加
——一月二十二日(金)

ホテルグランヴィア岡山にて記念式典が二十七女性会より三百余名が一堂に会し開催され、津山女性会は田中会長を始め六名参加しました。

石井正弘県知事のご祝詞では、経済発展・社会貢献に力を注いで来られている会員に、敬意と感謝のお言葉をいただき、また、女性会の歌の中にある「陵い世にも助け合う女性の力逞しく」の言葉のとおり、皆さんのパワーを岡山から全国に発信してくださいと励まされました。

記念講演会では、全国商工会議所女性会連合会長吉川稲美様より「厳しい時代を生きぬくには」と題して、佐藤栄作元首相の秘書を経て、現在の会社設立の経緯をお話され、言葉使い、礼儀作法がその人を表わす上で大切であり、人としての信用に繋がり、経営者としての自分の生き方を学ばせて頂き、職場は人間教育の場、人様の役に立ちたいと原点に戻ること、創業の理念、仕事こそ自分を高めてくれる最上のものである。

仕事の報酬は自己の成長、人間としての成長、厳しい時代だからこそ自分を見つめ直すチャンスであるとお話しされました。







私達会員として、報恩感謝の心で前進していきたいと感じた今日一日でした。

「公開講演会」in 瀬戸内
——二月二十三日(火)

ダイアモンド瀬戸内マリンホテルにて、会員二百名参加で開かれ津山女性会は十二名の参加でした。



演題「私の歩んだ道 見えないから見えたもの」講師は岡山県立盲学校講師竹内昌彦氏でした。

八才で全盲となり、いじめにあったり、人生を悲観し何度か死を考えたこともあったそうです。

「元気な子供を持っていることが当り前と思っていませんか？そのことがいかにありがたいことか考えて下さい。沢山ありがとうと言われる人生、人に感謝される人生を子供達に教えて下さい。そして立派な人とは、周囲の人に喜びを与えられる人、人の世話ができる人」と話されました。

竹内氏の歩は「アジアのどこかに盲学校を建てたい」と資金作りの為、「あの日、あの時」



女性会新年の集い



編集後記

女性会だより第81号ができ上がりました。

まったくの新メンバーによる会報誌はいかがでしたでしょうか。たくさんの行事の中、皆様の活躍されている記事を一つでも多く載せたくて、知恵を出し合い、和気あいあいの中、楽しく作業する事ができました。皆様のご協力を心より感謝いたします。

これからもよろしくお願いいたします。

津山商工会議所創立 80周年記念事業協賛
今年も大盛況のチャリティーバザー

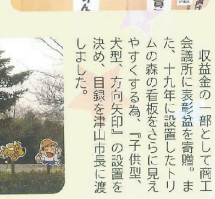
十二月二日(水)女性会恒例のチャリティーバザーをソシオ一番街エンゼルホールにて開催しました。

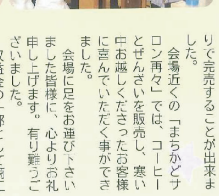
前日より会場の設営や値段つけなど、会員が手際よく準備し、会員は手作りの赤飯、もち・パンなど数々の食料品、そしてセカンド衣料・日用雑貨・シクラメン・ポインセチア等々を用意しました。

また今年は、津山商工会議所創立八十周年記念事業協賛ということで、議員の皆様より数々の品をご提供いただき、会場は詰め掛けた大勢のお客様で賑わい、わずか一時間余りで完売することが出来ました。









会場近くの「まちかどナロン再々」では、コーヒーとぜんざいを販売し、寒い中お祖しくださった皆様に喜んでいただく事ができました。

会場に足をお運びくださいました皆様に、心よりお礼申し上げます。有り難うございました。

収益金の一部として商工会議所に表彰盾を寄贈。また、十九年に設置したトリムの森の看板をさらに見えやすくする為、「子供型、犬型」方向矢印」の設置を決め、目録を津山市長に渡しました。

